

第2章 共通教育プログラム

I. 共通教育プログラムとは

共通教育プログラムは、國學院大學のすべての学生にとって必要な学修目標を満たすために設けられた、全学共通のカリキュラムです。学生が身につけるべき基礎的な知識・技能、さまざまな学問の知を、以下に示すような学修目標を目指して、体系的かつ厳選して編成してあります。これらの科目を主体的に学ぶことによって、一個の社会人としての素養（「市民的教養」）を涵養することを目指しています。

共通教育プログラムと専門教育科目との有機的な学修によって、4年間の学士課程教育の教育目標が実現されることが期待されています。

【学修成果参照基準】

ディプロマ・ポリシーに相当する「学修成果参照基準（RS：Reference Standard）」を以下のように定め、卒業要件 36 単位で修得されるべき学修成果目標を明示しています。

A 知識・技能

- (RS-A1) 建学の精神と神道精神を理解し、日本文化を説明できる。
- (RS-A2) 日本語を正確に読み、表現することができる。
- (RS-A3) 1つ以上の外国語を用いてコミュニケーションすることができる。
- (RS-A4) コンピュータを活用して学修することができる。

B 思考力・判断力・表現力

- (RS-B1) 数値に基づいて思考し、論証することができる。
- (RS-B2) 客観的事実に基づいて論理的に思考し、説明することができる。
- (RS-B3) 俯瞰的視点から思考し、自己の学びを相対化することができる。
- (RS-B4) 社会のルールを理解することができる。

C 主体性を保持しつつ多様な人々と協働して学ぶ態度

- (RS-C1) 他者の価値観を尊重し、異文化を受容できる。
- (RS-C2) 協働して最適な解を導き出そうとした体験を持つ。
- (RS-C3) 主体性をもった市民としての協働意識、参加意識を身につける。
- (RS-C4) 身体的または精神的な負荷を意欲に転化することができる。

【カリキュラム・ポリシー】

「学修成果参照基準」に定められた12の能力を身につけるために、下記の図表に示された4つの科目群（國學院科目群、汎用的スキル科目群、専門教養科目群、総合科目群）から構成される教育課程を設けています。各科目群の教育目標に応じた重点箇所を、以下に◎及び○で示します（◎：特に重点を置いている、○：重点を置いている）。また、☆は履修方法による専門教養科目群固有の学修成果目標を示しています。

科目区分		学修成果参照基準 (RS)											
		知識・技能				思考力・判断力・表現力				主体性を保持しつつ多様な人々と協働して学ぶ態度			
		A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	C3	C4
國學院科目群	神道と文化	◎											
	國學院の学び	◎											
	日本文化を知る	◎											
	Japan Studies	○		○						◎			
汎用的スキル科目群	日本語		◎										
	英語			◎						○			
	数的推論					◎							
	情報処理				◎								
専門教養科目群	人文学						○	☆		◎			
	法学・政治学 A							☆	○	○		◎	
	法学・政治学 B					○	◎	☆	○				
	経済学 A					○	◎	☆					
	経済学 B						◎	☆				○	
	自然科学					○	◎	☆					
総合科目群	導入科目		○				○				◎		
	外国語			○						◎			
	スポーツ科学					○					○		○
	キャリア形成支援								○		○	◎	

【カリキュラム構成及び科目群・各科目の教育目標】

1. 國學院科目群

國學院大學の建学の精神、学問的伝統に触れ、神道精神の本質と國學院大學が培ってきた日本研究の成果と学問的伝統を学び、日本文化への理解を深める科目群です。これを通じて日本人としての主体性、大学に対する帰属意識を涵養します。

神道と文化

本学の建学の精神であり、日本文化の基層である神道の精神を理解する。あわせて、本学の歴史と学統への学びを通じて、本学学生としての自覚を獲得する。

國學院の学び

國學院大學の歴史、学問的伝統を具現化した諸学問を学ぶ。

日本文化を知る

日本の伝統文化の歴史的形成と特質、現代における意義を学ぶとともに、伝統文化の実践を体験する実技体験型授業を通じて、日本文化の諸表現形態を体得する。

Japan Studies

日本の文化、社会、歴史等を英語で学ぶことによって、日本を相対化する視点を獲得するとともに、グローバル環境において日本文化を発信する視点と技能を身につける。

2. 汎用的スキル科目群

大学における学修の基礎となる技能、グローバル環境で生きるのに必要な汎用的言語能力、情報処理能力、数学的論理構成力を身につけ、それらを活用する能力を獲得する科目群です。

日本語

大学におけるすべての学修の基礎となる日本語理解力、表現力、語彙力、文章構成力等を研磨し、適切な日本語コミュニケーション能力を獲得する。

英語

大学の学修の基礎技能であり、グローバル化する知識基盤社会の共通言語である英語力の習熟を目的とし、4技能修得によって汎用的英語力を高める。

数的推論

大学の学修の基礎技能であり、社会生活及び職業生活において不可欠な数学的論理の汎用的応用の方法、数的論理を用いて現象を数的に論証する方法を修得する。

情報処理

大学の学修の基礎技能であり、社会生活及び職業生活において不可欠な情報機器の操作、情報ネットワーク、各種ソフトウェアの実践的活用法を修得する。

3. 専門教養科目群

学部専門教育科目の基礎部分を、他学部学生が「専門教養」として体系的に履修する科目群です。各学部の専門教育科目から構成されるパッケージを1つ以上選択し、定められた履修方法により6単位以上を修得します。**(神道文化学部夜間主コース所属の学生は、パッケージを1つ以上選択する必要はなく、専門教養科目群を構成する各学部の専門教育科目から6単位以上を修得すればよい)**。これにより達成されるべき教育目標は次のとおりです。

- ① 学問的課題に対する分析や思考方法の多様性を認識できる。
- ② 人間と社会に対する複眼的思考方法が獲得できる。
- ③ 客観的な事実に基づく合理的な思考方法が獲得できる。
- ④ 社会への参加意識、協働意識を獲得できる。
- ⑤ 自分が専攻する学問分野の知を相対化できる。

パッケージ名

人文学、法学・政治学A、法学・政治学B、経済学A、経済学B、自然科学

4. 総合科目群

学士課程教育の導入学修、異文化への理解を促す外国語学修、スポーツ・身体活動の理論と実践、学生から社会人への展望を得るキャリア学修を通じて、学士課程教育と社会的教養の基礎を身につける科目群です。

導入科目（人間開発学部のみ履修可）

調査、発表、討議といった学問の基礎的スキルを学ぶとともに、実践的活動を通して主体性や協調性を涵養し、大学における修学の基礎力を培う。

外国語

英語を除く外国語の導入学修を通じて、異文化を理解する手がかりをつかむ。一部の外国語については、発展的学修を行い、当該言語の習熟をはかる。

スポーツ科学

人間の身体の仕組みやスポーツなどの身体運動が健康の保持増進に果たす役割を理解し、生涯にわたって健康的な生活を送るための知識と体験を得る。

キャリア形成支援

自己認識を深め、学生から社会人へのキャリア展開の多様な可能性を認識し、社会との関わりにおいて将来を構想する力を獲得する。

【卒業に必要な最低単位数】

下表内の数値は、各学部・学科が科目区分ごとに指定している〔必修・選択必修科目〕の卒業要件単位数を表しています。卒業要件科目として指定される〔必修・選択必修科目〕は、所属する学部・学科ごとに異なるため、該当ページをよく読んで履修してください。

該当ページ		P15～P18					P18 ～ P20	P21 ～ P23	P23 ～ P26
科目区分		文学部					法学部	経済学部	神道文化学部
		日本文学科	中国文学科	外国語文化学科	史学科	哲学科			
國學院科目群	神道と文化	2	2	2	2	2	2	2	※1
	國學院の学び								
	日本文化を知る								
	Japan Studies								
汎用的スキル科目群	日本語								
	英語	12	2	4	12	12	8	16	12
	数的推論								
	情報処理	2	2	2	2	2	2	2	2
専門教養科目群	人文学	6※2	6※2	6※2	6※2	6※2	6※3	6※4	6※5
	法学・政治学 A								
	法学・政治学 B								
	経済学 A								
	経済学 B								
自然科学									
総合科目群	導入科目	※6	※6	※6	※6	※6	※6	※6	※6
	外国語	4	8	8	4	8			
	スポーツ科学								
	キャリア形成支援								
合計		36 単位以上							

※1 神道文化学部の学生は、「神道と文化」を履修できない。

※2 文学部の学生は、「人文学」のパッケージを選択できない。

※3 法学部の学生は、「法学・政治学 A」「法学・政治学 B」のパッケージを選択できない。

※4 経済学部の学生は、「経済学 A」「経済学 B」のパッケージを選択できない。

※5 **神道文化学部夜間主コースの学生は、パッケージを1つ以上選択する必要はなく、専門教養科目群を構成する各学部の専門教育科目から6単位以上を修得すればよい。**

※6 文・法・経済・神道文化学部の学生は、「導入科目」を履修できない。

Ⅱ. 共通教育プログラムの履修方法

【文学部】

1. 國學院科目群（日本文・中国文・外国語文化・史・哲学科）

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
神道と文化	1	2	2単位必修	
國學院の学び	1	2		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
日本文化を知る	1	2		
Japan Studies	2	2		8単位まで複数履修可

2. 汎用的スキル科目群

（日本文・史・哲学科）

科目区分	授業科目	学年	単位	履修方法	備考
日本語	基礎日本語	1	2		1・2年次のみ履修可。ただし、()付きの授業科目は除く
英語	英語Ⅰ	1	2	12単位必修	習熟度別クラス
	英語Ⅱ	1	2		
	英語Ⅲ	1	2		
	英語Ⅳ	1	2		
	英語Ⅴ	2	2		
	英語Ⅵ	2	2		
	発展英語	2	2		レベルが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
数的推論	数的推論	1	2	2単位選択必修	
情報処理	コンピュータと情報	1	2		()付きの授業科目は履修不可

（中国文学科）

科目区分	授業科目	学年	単位	履修方法	備考
日本語	基礎日本語	1	2		1・2年次のみ履修可。ただし、()付きの授業科目は除く
英語	英語Ⅰ	1	2	2単位必修	習熟度別クラス
	発展英語	2	2		レベルが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
数的推論	数的推論	1	2	2単位選択必修	
情報処理	コンピュータと情報	1	2		()付きの授業科目は履修不可

（外国語文化学科）

科目区分	授業科目	学年	単位	履修方法	備考
日本語	基礎日本語	1	2		1・2年次のみ履修可。ただし、()付きの授業科目は除く
英語	英語Ⅰ	1	2	4単位必修	習熟度別クラス
	英語Ⅱ	1	2		
	発展英語	2	2		
数的推論	数的推論	1	2	2単位選択必修	
情報処理	コンピュータと情報	1	2		()付きの授業科目は履修不可

3. 専門教養科目群（日本文・中国文・外国語文化・史・哲学科）

他学部の専門教育科目から構成されるパッケージを1つ以上選択し、それぞれ計6単位以上を修得すること

法学・政治学 A ～シチズンシップ教育～＜法学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
法学（日本国憲法）	1	2	2単位必修	
法と社会参加	1	2	4単位選択必修	（ ）内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可。（ただし、それぞれ計8単位まで）
政治と社会参加	1	2		
行政と市民生活	1	2		
法教育入門	1	2		

法学・政治学 B ～社会の理解～＜法学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
法学（日本国憲法）	1	2	2単位必修	
国際政治入門	1	2	4単位選択必修	
政治哲学入門	1	2		
比較政治入門	1	2		
地域研究入門	1	2		
比較法入門	1	2		
犯罪学入門	1	2		

経済学 A ～経済と経営～＜経済学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
日本の経済	1	2	2単位必修	
世界の経済	1	2	4単位選択必修	史学科を除く※
経済史の基礎	1	2		
経済理論入門	1	2		史学科を除く※
会社入門	1	2		
経営理論入門	1	2		
簿記と財務報告 A	1	2		

※ 史学科の学生は、所属学科の専門教育科目として履修可（専門教養科目としては履修できないため、上記の選択必修科目の単位に算入することはできない。）

経済学 B ～社会のとらえ方～＜経済学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
日本の経済	1	2	2単位必修	
調査研究入門	1	2	4単位選択必修	史・哲学科を除く※
アンケート調査入門	2	2		
社会保障の基礎	2	2		
ジェンダーと経済	1	2		
環境・開発問題入門	2	2		
地域社会問題入門	2	2		

※ 史・哲学科の学生は、所属学科の専門教育科目として履修可（専門教養科目としては履修できないため、上記の選択必修科目の単位に算入することはできない。）

自然科学 ～環境と自然～<人間開発学部開講科目>

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
地球環境と人間	1	2	6単位選択必修	
宇宙物理学入門	1	2		
情報科学入門	1	2		
科学的思考法	1	2		
人類学入門	1	2		

4. 総合科目群（日本文・中国文・外国語文化・史・哲学科）

下表内の○で示されている授業科目のうち、いずれか一言語（中国文学科は中国語）を選択し、日本文・史学科は計4単位、中国文・外国語文化・哲学科は計8単位を修得すること。なお、日本文・外国語文化・史学科は、入学時に選択した言語を変更することができない。また、哲学科で言語の変更を希望する場合は、2年次前期の履修登録期間に教務課へ申し出ること（言語の変更が認められた場合は、1年次に修得すべき科目から改めて履修することになる）。

外国語

科目区分	授業科目	学年	単位	履修方法					備考
				日本文	中国文	外国語文化	史	哲	
外国語	入門ドイツ語	1	2						
	ドイツ語Ⅰ	1	2	○		○	○	○	
	ドイツ語Ⅱ	1	2	○		○	○	○	
	ドイツ語Ⅲ	2	2			○		○	
	ドイツ語Ⅳ	2	2			○		○	
	入門フランス語	1	2						
	フランス語Ⅰ	1	2	○		○	○	○	
	フランス語Ⅱ	1	2	○		○	○	○	
	フランス語Ⅲ	2	2			○		○	
	フランス語Ⅳ	2	2			○		○	
	入門中国語	1	2						
	中国語Ⅰ	1	2	○	○	○	○	○	
	中国語Ⅱ	1	2	○	○	○	○	○	
	中国語Ⅲ	2	2		○	○		○	
	中国語Ⅳ	2	2		○	○		○	
	入門韓国語	1	2						
	韓国語Ⅰ	1	2	○				○	
	韓国語Ⅱ	1	2	○				○	
	ロシア語Ⅰ	1	2					○	
	ロシア語Ⅱ	1	2					○	
	スペイン語Ⅰ	1	2						
	スペイン語Ⅱ	1	2						
	イタリア語Ⅰ	1	2						
	イタリア語Ⅱ	1	2						
	ポルトガル語Ⅰ	1	2						
	ポルトガル語Ⅱ	1	2						

科目区分	授業科目	学年	単位	履修方法					備考
				日本文	中国文	外国語文化	史	哲	
	留学英語	1	2						単位認定は同一言語内において2科目4単位まで (同一留学先に複数回参加した場合、二度目以降は単位認定対象外) 詳細はP9参照
	留学ドイツ語	1	2						
	留学フランス語	1	2						
	留学中国語	1	2						
	留学外国語	1	2						

スポーツ科学・キャリア形成支援

科目区分	授業科目	学年	単位	履修方法	備考
スポーツ科学	スポーツ実技 A	1	1		教職課程履修者のみ履修可
	スポーツ科学論	1	2		
	生涯スポーツ実技	1	1		8単位まで複数履修可
キャリア形成支援	ライフデザイン*	1	2		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
	インターンシップ	2・3	1・2		授業内容により単位数が異なる。 4年次の履修不可

※ 「ライフデザイン (スタートアップ)」の履修は一度限りであり、単位修得の可否にかかわらず二度目の履修をすることはできない。また、原則として2年次以降に履修することはできない。

【法学部】

1. 國學院科目群 (法律・法律専門職・政治専攻)

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
神道と文化	1	2	2単位必修	
國學院の学び	1	2		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
日本文化を知る	1	2		
Japan Studies	2	2		8単位まで複数履修可

2. 汎用的スキル科目群 (法律・法律専門職・政治専攻)

科目区分	授業科目	学年	単位	履修方法	備考
日本語	基礎日本語	1	2		1・2年次のみ履修可。ただし、()付きの授業科目は除く
英語	英語 I	1	2	8単位必修	習熟度別クラス
	英語 II	1	2		
	英語 III	1	2		
	英語 IV	1	2		
	発展英語	2	2		レベルが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
数的推論	数的推論	1	2	2単位選択必修	
情報処理	コンピュータと情報	1	2		()付きの授業科目は履修不可

3. 専門教養科目群（法律・法律専門職・政治専攻）

他学部の専門教育科目から構成されるパッケージを1つ以上選択し、それぞれ計6単位以上を修得すること

人文学 ～人類の叡智～＜文学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
民俗学史 I	2	2	6 単位選択必修	
日本古典文学研究 I A	2	2		
中国学入門	1	2		
比較文化論 I	2	2		
比較文化論 II	2	2		
日本文化史 I	2	2		
日本文化史 II	2	2		
論理学 A	1	2		
西洋美術史 I A	1	2		
日本美術史 A	1	2		
美学 A	2	2		

経済学 A ～経済と経営～＜経済学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
日本の経済	1	2	2 単位必修	
世界の経済	1	2	4 単位選択必修	政治専攻を除く*
経済史の基礎	1	2		
経済理論入門	1	2		
会社入門	1	2		
経営理論入門	1	2		
簿記と財務報告 A	1	2		

※ 政治専攻の学生は、所属学科の専門教育科目として履修可（専門教養科目としては履修できないため、上記の選択必修科目の単位に算入することはできない。）

経済学 B ～社会のとらえ方～＜経済学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
日本の経済	1	2	2 単位必修	
調査研究入門	1	2	4 単位選択必修	
アンケート調査入門	2	2		
ジェンダーと経済	1	2		
環境・開発問題入門	2	2		
地域社会問題入門	2	2		

自然科学 ～環境と自然～＜人間開発学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
地球環境と人間	1	2	6 単位選択必修	
宇宙物理学入門	1	2		
情報科学入門	1	2		
科学的思考法	1	2		
人類学入門	1	2		

4. 総合科目群（法律・法律専門職・政治専攻）

科目区分	授業科目	学年	単位	履修方法	備考
外国語	入門ドイツ語	1	2		
	ドイツ語Ⅰ	1	2		
	ドイツ語Ⅱ	1	2		
	ドイツ語Ⅲ	2	2		
	ドイツ語Ⅳ	2	2		
	入門フランス語	1	2		
	フランス語Ⅰ	1	2		
	フランス語Ⅱ	1	2		
	フランス語Ⅲ	2	2		
	フランス語Ⅳ	2	2		
	入門中国語	1	2		
	中国語Ⅰ	1	2		
	中国語Ⅱ	1	2		
	中国語Ⅲ	2	2		
	中国語Ⅳ	2	2		
	入門韓国語	1	2		
	韓国語Ⅰ	1	2		
	韓国語Ⅱ	1	2		
	ロシア語Ⅰ	1	2		
	ロシア語Ⅱ	1	2		
	スペイン語Ⅰ	1	2		
	スペイン語Ⅱ	1	2		
	イタリア語Ⅰ	1	2		
	イタリア語Ⅱ	1	2		
	ポルトガル語Ⅰ	1	2		
	ポルトガル語Ⅱ	1	2		
留学英語	1	2		単位認定は同一言語内において2科目4単位まで (同一留学先に複数回参加した場合、二度目以降は単位認定対象外) 詳細はP9参照	
留学ドイツ語	1	2			
留学フランス語	1	2			
留学中国語	1	2			
留学外国語	1	2			
スポーツ科学	スポーツ実技A	1	1		教職課程履修者のみ履修可
	スポーツ科学論	1	2		
	生涯スポーツ実技	1	1		8単位まで複数履修可
キャリア形成支援	ライフデザイン※	1	2		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
	インターンシップ	2・3	1・2		授業内容により単位数が異なる。 4年次の履修不可

※ 法律専攻及び政治専攻の学生は、専門教育科目として同内容の「キャリア・プランニング」が開講されているため、「ライフデザイン（スタートアップ）」を履修することはできない。

※ 「ライフデザイン（スタートアップ）」の履修は一度限りであり、単位修得の可否にかかわらず二度目の履修をすることはできない。また、原則として2年次以降に履修することはできない。

【経済学部】

1. 國學院科目群（経済・経済ネットワーク・経営学科）

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
神道と文化	1	2	2単位必修	
國學院の学び	1	2		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
日本文化を知る	1	2		
Japan Studies	2	2		8単位まで複数履修可

2. 汎用的スキル科目群（経済・経済ネットワーク・経営学科）

科目区分	授業科目	学年	単位	履修方法	備考
日本語	基礎日本語	1	2		1・2年次のみ履修可。ただし、()付きの授業科目は除く
英語	英語Ⅰ	1	2	16単位必修	習熟度別クラス
	英語Ⅱ	1	2		
	英語Ⅲ	1	2		
	英語Ⅳ	1	2		
	英語Ⅴ	2	2		
	英語Ⅵ	2	2		
	英語Ⅶ	2	2		
	英語Ⅷ	2	2		
	発展英語	2	2		レベルが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
数的推論	数的推論	1	2		
情報処理	コンピュータと情報	1	2	2単位必修	()付きの授業科目は履修不可

3. 専門教養科目群（経済・経済ネットワーク・経営学科）

他学部の専門教育科目から構成されるパッケージを1つ以上選択し、それぞれ計6単位以上を修得すること

人文学 ～人類の叡智～＜文学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
民俗学史Ⅰ	2	2	6単位選択必修	
日本古典文学研究ⅠA	2	2		
中国学入門	1	2		
比較文化論Ⅰ	2	2		
比較文化論Ⅱ	2	2		
日本文化史Ⅰ	2	2		
日本文化史Ⅱ	2	2		
論理学A	1	2		
西洋美術史ⅠA	1	2		
日本美術史A	1	2		
美学A	2	2		

法学・政治学 A ～シチズンシップ教育～<法学部開講科目>

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
法学（日本国憲法）	1	2	2 単位必修	
法と社会参加	1	2	4 単位選択必修	（ ）内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可。（ただし、それぞれ計 8 単位まで）
政治と社会参加	1	2		
行政と市民生活	1	2		
法教育入門	1	2		

法学・政治学 B ～社会の理解～<法学部開講科目>

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
法学（日本国憲法）	1	2	2 単位必修	
国際政治入門	1	2	4 単位選択必修	
政治哲学入門	1	2		
比較政治入門	1	2		
地域研究入門	1	2		
比較法入門	1	2		
犯罪学入門	1	2		

自然科学 ～環境と自然～<人間開発学部開講科目>

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
地球環境と人間	1	2	6 単位選択必修	
宇宙物理学入門	1	2		
情報科学入門	1	2		
科学的思考法	1	2		
人類学入門	1	2		

4. 総合科目群（経済・経済ネットワーク・経営学科）

科目区分	授業科目	学年	単位	履修方法	備考
外国語	入門ドイツ語	1	2		
	ドイツ語Ⅰ	1	2		
	ドイツ語Ⅱ	1	2		
	ドイツ語Ⅲ	2	2		
	ドイツ語Ⅳ	2	2		
	入門フランス語	1	2		
	フランス語Ⅰ	1	2		
	フランス語Ⅱ	1	2		
	フランス語Ⅲ	2	2		
	フランス語Ⅳ	2	2		
	入門中国語	1	2		
	中国語Ⅰ	1	2		
	中国語Ⅱ	1	2		
	中国語Ⅲ	2	2		
	中国語Ⅳ	2	2		
	入門韓国語	1	2		
	韓国語Ⅰ	1	2		
	韓国語Ⅱ	1	2		
ロシア語Ⅰ	1	2			
ロシア語Ⅱ	1	2			

科目区分	授業科目	学年	単位	履修方法	備考
外国語	スペイン語Ⅰ	1	2		
	スペイン語Ⅱ	1	2		
	イタリア語Ⅰ	1	2		
	イタリア語Ⅱ	1	2		
	ポルトガル語Ⅰ	1	2		
	ポルトガル語Ⅱ	1	2		
	留学英語	1	2		単位認定は同一言語内において2科目4単位まで (同一留学先に複数回参加した場合、二度目以降は単位認定対象外) 詳細はP9参照
	留学ドイツ語	1	2		
	留学フランス語	1	2		
	留学中国語	1	2		
留学外国語	1	2			
スポーツ科学	スポーツ実技A	1	1		教職課程履修者のみ履修可
	スポーツ科学論	1	2		
	生涯スポーツ実技	1	1		8単位まで複数履修可
キャリア形成支援	ライフデザイン※	1	2		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
	インターンシップ	2・3	1・2		授業内容により単位数が異なる。 4年次の履修不可

※ 1年次に「ライフデザイン(スタートアップ)」の履修が義務付けられている(ただし、留学生及び社会人については、この限りではない)。なお、単位修得の必要はないが、履修は一度限りであり、単位修得の可否にかかわらず二度目の履修をすることはできない。

【神道文化学部】

1. 國學院科目群(神道文化学科)

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
國學院の学び	1	2		()内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
日本文化を知る	1	2		
Japan Studies	2	2		8単位まで複数履修可

2. 汎用的スキル科目群(神道文化学科)

科目区分	授業科目	学年	単位	履修方法	備考
日本語	基礎日本語	1	2		1・2年次のみ履修可。ただし、()付きの授業科目は除く
英語	英語Ⅰ	1	2	12単位必修	習熟度別クラス
	英語Ⅱ	1	2		
	英語Ⅲ	1	2		
	英語Ⅳ	1	2		
	英語Ⅴ	2	2		
	英語Ⅵ	2	2		
	発展英語	2	2		レベルが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
数的推論	数的推論	1	2	2単位選択必修	
情報処理	コンピュータと情報	1	2		()付きの授業科目は履修不可

3-1. 専門教養科目群（神道文化学科 **昼間主コース**）

他学部の専門教育科目から構成されるパッケージを1つ以上選択し、それぞれ計6単位以上を修得すること

人文学 ～人類の叡智～＜文学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
民俗学史Ⅰ	2	2	6単位選択必修	
日本古典文学研究ⅠA	2	2		
中国学入門	1	2		
比較文化論Ⅰ	2	2		
比較文化論Ⅱ	2	2		
日本文化史Ⅰ	2	2		
日本文化史Ⅱ	2	2		
論理学A	1	2		
西洋美術史ⅠA	1	2		
日本美術史A	1	2		
美学A	2	2		

法学・政治学A ～シチズンシップ教育～＜法学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
法学（日本国憲法）	1	2	2単位必修	
法と社会参加	1	2	4単位選択必修	（ ）内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可。（ただし、それぞれ計8単位まで）
政治と社会参加	1	2		
行政と市民生活	1	2		
法教育入門	1	2		

法学・政治学B ～社会の理解～＜法学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
法学（日本国憲法）	1	2	2単位必修	
国際政治入門	1	2	4単位選択必修	
政治哲学入門	1	2		
比較政治入門	1	2		
地域研究入門	1	2		
比較法入門	1	2		
犯罪学入門	1	2		

経済学A ～経済と経営～＜経済学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
日本の経済	1	2	2単位必修	
世界の経済	1	2	4単位選択必修	
経済史の基礎	1	2		
経済理論入門	1	2		
会社入門	1	2		
経営理論入門	1	2		
簿記と財務報告A	1	2		

経済学 B ～社会のとらえ方～＜経済学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
日本の経済	1	2	2単位必修 4単位選択必修	
調査研究入門	1	2		
アンケート調査入門	2	2		
ジェンダーと経済	1	2		
環境・開発問題入門	2	2		
地域社会問題入門	2	2		

自然科学 ～環境と自然～＜人間開発学部開講科目＞

授業科目	学年	単位	履修方法	備考
地球環境と人間	1	2	6単位選択必修	
宇宙物理学入門	1	2		
情報科学入門	1	2		
科学的思考法	1	2		
人類学入門	1	2		

3-2. 専門教養科目群（神道文化学科夜間主コース）

他学部の専門教育科目で構成される専門教養科目群から、計6単位以上を修得すること

区分	授業科目	学年	単位	履修方法	備考
人類の叡智 (文学部開講科目)	民俗学史 I	2	2	6単位	
	日本古典文学研究 I A	2	2		
	中国学入門	1	2		
	比較文化論 I	2	2		
	比較文化論 II	2	2		
	日本文化史 I	2	2		
	日本文化史 II	2	2		
	論理学 A	1	2		
	西洋美術史 I A	1	2		
	日本美術史 A	1	2		
美学 A	2	2			
シチズンシップ教育 (法学部開講科目)	法学（日本国憲法）	1	2		
	法と社会参加	1	2		
	政治と社会参加	1	2		
	行政と市民生活	1	2		
社会の理解 (法学部開講科目)	法教育入門	1	2		
	法学（日本国憲法）	1	2		
	国際政治入門	1	2		
	政治哲学入門	1	2		
	比較政治入門	1	2		
	地域研究入門	1	2		
比較法入門	1	2			
犯罪学入門	1	2			

(経済学部開講科目) 経済と経営	日本の経済	1	2	選択必修	
	世界の経済	1	2		
	経済史の基礎	1	2		
	経済理論入門	1	2		
	会社入門	1	2		
	経営理論入門	1	2		
	簿記と財務報告 A	1	2		
(経済学部開講科目) 社会のとらえ方	日本の経済	1	2		
	調査研究入門	1	2		
	アンケート調査入門	2	2		
	ジェンダーと経済	1	2		
	環境・開発問題入門	2	2		
	地域社会問題入門	2	2		
(人間発達学部開講科目) 環境と自然	地球環境と人間	1	2		
	宇宙物理学入門	1	2		
	情報科学入門	1	2		
	科学的思考法	1	2		
	人類学入門	1	2		

4. 総合科目群 (神道文化学科)

科目区分	授業科目	学年	単位	履修方法	備考
外国語	入門ドイツ語	1	2		
	ドイツ語 I	1	2		
	ドイツ語 II	1	2		
	ドイツ語 III	2	2		
	ドイツ語 IV	2	2		
	入門フランス語	1	2		
	フランス語 I	1	2		
	フランス語 II	1	2		
	フランス語 III	2	2		
	フランス語 IV	2	2		
	入門中国語	1	2		
	中国語 I	1	2		
	中国語 II	1	2		
	中国語 III	2	2		
	中国語 IV	2	2		
	入門韓国語	1	2		
	韓国語 I	1	2		
	韓国語 II	1	2		
	ロシア語 I	1	2		
	ロシア語 II	1	2		
	スペイン語 I	1	2		
	スペイン語 II	1	2		
	イタリア語 I	1	2		
	イタリア語 II	1	2		
	ポルトガル語 I	1	2		
	ポルトガル語 II	1	2		

科目区分	授業科目	学年	単位	履修方法	備考
外国語	留学英語	1	2		単位認定は同一言語内において 2 科目 4 単位まで (同一留学先に複数回参加した場合、二度目以降は単位認定対象外) 詳細は P9 参照
	留学ドイツ語	1	2		
	留学フランス語	1	2		
	留学中国語	1	2		
	留学外国語	1	2		
スポーツ 科学	スポーツ実技 A	1	1		教職課程履修者のみ履修可
	スポーツ科学論	1	2		
	生涯スポーツ実技	1	1		8 単位まで複数履修可
キャリア 形成支援	ライフデザイン※	1	2		() 内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可
	インターンシップ	2・3	1・2		授業内容により単位数が異なる。 4 年次の履修不可

※ 「ライフデザイン (スタートアップ)」の履修は一度限りであり、単位修得の可否にかかわらず二度目の履修をすることはできない。また、原則として 2 年次以降に履修することはできない。